

2026 年 7 月 27 日
株式会社ホンダカーズ東海

産学連携プログラム 岐阜聖徳学園大学 経済情報学部 キャリアデザインⅡ 『未来の自動車ディーラー』について最終報告会を実施

株式会社ホンダカーズ東海（社長：中嶋勉）は、岐阜聖徳学園大学（学長：観山正見）の経済情報学部 今枝 正史 先生のキャリアデザインⅡにて、過去から現在の自動車ディーラーを調査した上で、『未来の自動車ディーラー』について発表する最終報告会を開催しました。

記

1. イベント名 キャリアデザインⅡにおける産学連携プログラム
2. 目的 企業経営に関する知識や技術を総合的に学習・実践する授業において産学が一体となって取り組み、地域社会へ貢献する試み
3. 開催日 2026 年 4 月 9 日（木）～2026 年 7 月 23 日（木）
4. 場所 岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス
5. 対象 経済情報学部 キャリアデザインⅡ 履修者：55 名



本年 4 月より 15 回にわたり産学連携授業を行いました。「未来の自動車ディーラー」をテーマに「自動車業界の基礎知識」、業界が「百年に一度の変革期を迎えている現状の把握」を学習、スタッフとの Q&A、最新ホンダ車の展示会、外部講師による「チームビルディング」、「プレゼンテーションの発表方法」などを行い最終的に学生視点での未来の自動車ディーラーとして「AI と共存するディーラー」や「中古車ビジネスの充実」、「EV 化への対応」「SNS を活用した事業展開」等をはじめ 12 の案を発表していただきました。

メディア掲載実績のご報告

本取り組み（岐阜聖徳学園大学 キャリアデザインⅡにおける産学連携プログラム 「未来のディーラー」プレゼンテーション発表）について、下記の通り新聞 メディアにてご紹介いただきました。

未来のディーラー提案

産学連携 岐阜聖大生がプレゼン

岐阜聖徳学園大の経済情報学部とホンダカーズ東海（名古屋市中）の産学連携プロジェクトの成果発表会が、岐阜市中鶴の同大岐阜キャンパスで行われた。「未来の自動車ディーラー」について、学生が同社に向けて目指すべき姿を発表した。

「キャリアデザインⅡ」の授業で大学が同社と連携。「若者の車離れへの対応」をテーマに、3年生を主体とする60人がグループワークや実車体感などを通じて課題に取り組んでいた。発表会は今年4月からの15こまの授業の最終回として開かれた。

学生が少人数のグループに分かれ、作成してきた資料を基にプレゼン。若者のライフスタイルや新車販売の現状を分析し、ディーラーが「体験価値」を提供する場になること、人工知能（AI）やバーチャル技術を活用することなどを提案した。

同社社員らが審査し、優秀作品を表彰。最優秀賞に選ばれたグループの植田湧太郎さん（20）は「課題を調べ、解決策を提示する経験が、就活でも強みになりそう」と話した。同社取締役の水口守史さんは「学生たちが車、ディーラーについてしっかり考えてくれた」とプロジェクトの成果を語った。（大堀瑠美）



「未来の自動車ディーラー」をテーマにプレゼンする学生。岐阜市中鶴、岐阜聖徳学園大岐阜キャンパス

【掲載概要】

媒体名： 岐阜新聞

掲載日： 2026年7月29日（水）付 朝刊3面、

見出し： 「未来のディーラー提案 産学連携 岐阜聖大生がプレゼン」

<本リリースに関連する取り組みが貢献する SDGs>

4 質の高い教育をみんなに



< 本リリースに関するお問い合わせ先 >

株式会社ホンダカーズ東海 経営企画室 水口 TEL 052-837-3004